

Rotary

SERVE TO
CHANGE LIVES奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
2021～2022年度 シェアール・メータ RI会長テーマ

WEEKLY BULLETIN

2022年6月2日(3415例会)(創立71周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3329

■呉RC 2021～2022年度テーマ 「みんな(全員参加)で呉ロータリーを盛り上げよう」

会 長	福田 多喜二	幹 事	岩 本 貴 紀	会長エレクト	増 岡 真 一
副 会 長	佐々木 英夫	会 計	廣 江 裕 治	会場監督	大 塩 俊 俊
直前会長	長 尾 正 嗣				

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12 (例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
 呉商工会議所ビル南館7階 705号室 ☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120
 ☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30
 E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

次週のメインプログラム

次年度役員担当例会

広報・クラブ週報委員会担当例会

外部講師

「パーパス経営の時代～中国新聞社130周年の変革」

中国新聞社メディア開発局 山本 洋子様

第3414例会記録【5月26日(木)】

【プログラム】 ◇新会員卓話

古川 竜彦様

【出席率】 ◇前々回 98.55% 今回 95.65% (会員71名・欠席3名・免除2名)

【来客】 ◇中野誠吾君、岡本太君の御同伴者 しげかわともみ社会保険労務士事務所 代表者 重川智美様
◇呉東ロータリークラブ 長尾 邦雄様

【他クラブ出席者】 ◇下瀬君 (5/15 RID2710 地区研修・協議会) 寺坂君 (5/24 福山ロータリーEクラブ) 2名

【欠席者】 ◇尾川・武田(介)・三宅君 3名

【出席免除者】 ◇奥川・海生(孝)君 2名

【会長報告】 ◇呉ロータリークラブのスポンサーである 広島ロータリークラブが創立90周年を迎え、お礼状と内祝いを頂きました。昨年4月に行われた「呉市手をつなぐ育成会」の方に講演会を行っていただき、謝礼を寄付しましたが、その感謝状が届いています。

【幹事報告】 ◇東広島ロータリークラブ…創立35周年記念大会への御礼

…例会変更・休会のお知らせ。

5/31(火)職場訪問例会の為、例会場を新日本建設(株)へ変更。

6/21(火)最終夜間例会のため 西条 HAKUWA ホテルへ変更。

6/28(火)カープ観戦例会の為マツダスタジアムへ変更。

◇クールビズの案内。

◇歴代会長・幹事会の開催の案内

【委員会報告】 ◇社会奉仕委員会 和田昭 委員…ナトカリランチの説明

◇ロータリー財団委員会 明神博 委員長…ロータリー財団 一般寄付のお願い

【S.A.A】 ◇中崎 誠君…昨日、歴代幹事経験者の方々に「次年度幹事を励ます会」を開催していただきました。ロータリアンの皆さんの温かいお言葉にしっかりと勇気を頂きました。御礼にニコニコします。

◇島村 充君…一年中で最も出席したい幹事会を全身で失念してしまった、くやしさに!

◇岩本 貴紀君…昨日、中崎幹事予定者を励ます会が開催されました。歴代幹事の皆様のお話を聞き、大変勉強になりました。一年前に聞いておけばと少し感じました。しかし、歴代幹事のご配慮により楽しい時間を過ごせました。感謝いたします。

◇大之木 精二君…母校の同窓会である「呉慶応倶楽部」が戦後「呉三田会」から名称変更の上再発足して70年が経過しました。先日関係者だけのささやかな70周年記念祝賀会を開催し、記念講演やピアノ演奏などで和やかに心豊かな一時を過ごしましたが、まだ記念誌の上梓が残っています。これが済んで始めて記念行事が完結します。すべてを取り仕切ってくれた幹事の山村君に感謝、感謝です。

◇いちカープファン(森澤 大司君)…交流戦でまず1勝しました。

◇会員誕生日・配偶者誕生日・結婚記念日

◎ニコニコ基金金額 38,000円(累計金額 1,510,100円)



私の仕事と職業奉仕



川畑 直也

2002年に大学を卒業し、損保業界に飛び込んでから20年経ちました。まだまだ若輩者ですが、この20年を振り返り、私の仕事と職業奉仕のテーマに沿って記載いたします。

損保業界は自然災害とは切っても切り離せないものです。私は営業担当者ではありますが、東日本大震災や熊本震災、当地でも数年前の西日本豪雨など、災害時には臨時に保険金支払い業務にも携わってもしました。保険は金銭面での提供でしかなく、それも契約内容によっては十分な額をお支払いできないケースも多々あります。それでも、被災地に赴き、現地調査をし、この金額で…とご説明すると、お客様より大変感謝されることが多く、保険会社の存在意義を強く感じた瞬間でした。

私自身の力で何かできるわけではなく、あくまでも損害保険という仕事を通じてであり、業務上当たり前のことかもしれませんが、これがロータリオンに求められる職業奉仕ではなかろうかと、昨年呉ロータリークラブ入会して以来思うところです。

別の角度からですが、20年前では想像できなかった世の中が今広がっています。スマホやPCが一

人1台の世の中、ネットを通じてタイムリーに世界中につながる世の中、更に未来の話でしょうが、自動車の自動運転や空飛ぶ自動車も生まれるかも?!…一方で、技術革新と共に、20年前にはなかった新たなリスクが生まれている状況です。

いま弊社では、「(損害) 保険は社会のインフラのインフラ」と表現することがあります。これは、企業経営・個人の生活を支えるため、保険はなくてはならないものという位置づけです。おこがましいところは多々あると思いますが、コロナやサイバーリスクなど新たなリスクが生まれ、それに伴い仕事・生活をするうえで自社や自分自身を自ら守らなければならない局面も増えてきており、「自主対策を重ねて保険を付保すること = 私が貢献できる領域」も職業奉仕の一つになろうかと考えています。

上記記載の通り、損害保険という職業を通じ、お客様に「安心と安全」を提供することが、私の職業奉仕と考えます。

まだまだ勉強すべきことはたくさんありますので、皆様からのご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。